

お客様各位

大建工業株式会社

防耐火認定書類（写）の使用に際してのご注意

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度は弊社製品をご採用またはご検討いただき誠に、ありがとうございます。

ご要望の表記資料を使用いただく際に、注意していただきたい事項がございます。下記事項を、ご確認、ご了解の上、ご利用いただくようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 認定書は、防耐火構造上、国土交通大臣に認められた構造仕様の範囲を示すものです。外壁の仕様、断熱材など各資材は、認定書に記載されている仕様を満たすものを選定するようにお願いいたします。（認定範囲外となった場合、防耐火構造の性能上の問題が生じるおそれがあります。）実際の設計、施工においては、認定書と共に弊社および各材料メーカーのカatalog、施工要領書に記載の事項をご確認いただき、それに従ってください。
2. 各防耐火認定ごとに、建物及び下地の構造（軸組/枠組、木製/鋼製 など）、外装仕上げ材の仕様（基材、厚さ、形状等）、工法（通気、直張り、充填断熱、外張り断熱等）、断熱材の仕様、屋内側防火被覆材（内装材）の指定の有無など認定範囲が異なりますので十分ご確認ください。
3. 認定書は、認定書構造をご採用いただいた物件の確認申請、あるいは防耐火構造としての仕様確認のためにご提供するものです。本来の目的以外ではご使用されないよう、お願いいたします。
4. これらの注意点は新築時だけではなく、外壁や断熱の改修時にも配慮が必要となります。ご留意のほどよろしくお願いいたします。

以上

2025/7/2 改訂

認 定 書

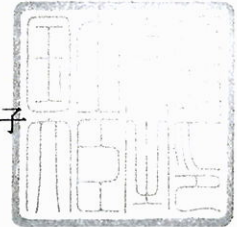
国 住 指 第 6596号

平 成 14 年 7 月 22 日

大建工業株式会社

取締役社長 六車襄二 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第七号の二並びに同法施行令第107条の2第一号、第二号及び第三号（外壁（耐力壁）：各45分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

Q F 0 4 5 B E - 0 0 6 8

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

木繊維混入セメントけい酸カルシウム板・フェノールフォーム保温板・火山性ガラス質複層板表張／強化せっこうボード裏張／木製軸組造外壁

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

(別添)

1. 構造名

木繊維混入セメントけい酸カルシウム板・フェノールフォーム保温板・火山性ガラス質複層板
表張／強化せっこうボード裏張／木製軸組造外壁

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
壁 幅	910 以上
壁 高	9000 以下
壁 厚	170.5 以上

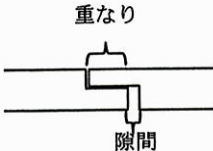
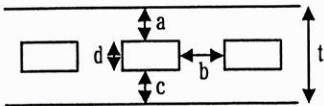
3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
①荷重支持部材	柱 ・断面形状 105×105 の断面寸法以上 ・間隔 1000 以下
②外装材	[1] 窯業系サイディング (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする (1) 硬質木片セメント板 ・組成（質量％） - セメント質原料 73～78 - 木片 22～27 (2) 木繊維混入セメントけい酸カルシウム板 ・組成（質量％） - けい酸カルシウム化合物 70～80 - 有機質繊維 15 - 無機質繊維 0～5 - 有機質混和材 0～3 - 無機質混和材 12～15 (3) 繊維補強セメント板 ・組成（質量％） - セメント質原料 65～85 - 有機質繊維 2.5～8 - 無機質繊維 0～6 - 有機質混和材 0～3 - 無機質混和材 0～30 (4) 繊維補強セメントけい酸カルシウム板 ・組成（質量％） - けい酸カルシウム化合物 65～96 - 有機質繊維 0～6 - 無機質繊維 0～3.5 - 有機質混和材 0～3 - 無機質混和材 0～30 但し、●繊維質原料 有機質：木繊維、パルプ、ポリビニルアルコール、ポリプロピレン 無機質：ガラス繊維、ロックウール、マイカ 等 （石綿は使用してはならない） ●混和材 有機質：木粉、メチルメタクリレート、撥水剤 等 無機質：バーライト、バーミキュライト、タルク 等 ・サイディングの張方 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 横張 (2) 縦張 ・表面塗装 (1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする (1) アクリルウレタン系樹脂塗装 (2) アクリル系樹脂塗装 (3) アクリルシリコン系樹脂塗装 (4) フッ素系樹脂塗装 (5) 無機質系樹脂塗装 塗布量 200g/m²（有機固形分）以下 ・かさ比重 1.1±0.2（気乾）

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造																																																						
②外装材 (つづき)	・ 形状 (外形寸法) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">厚さ</th><th colspan="2">幅</th><th colspan="2">長さ</th></tr> <tr> <th>最小</th><th>最大</th><th>最小</th><th>最大</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12～14</td><td>400※</td><td>1210</td><td>1820</td><td>3640</td></tr> <tr> <td>15～25</td><td>303</td><td>910</td><td>910</td><td>3640</td></tr> </tbody> </table> ※但し、重張の場合は160 ・ 端部形状 (サイディング 相互の重なりと隙間)  <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ</th><th>重なり</th><th>隙間</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12～14</td><td>6以上</td><td>3以下</td></tr> <tr> <td>15～25</td><td>9以上</td><td>3以下</td></tr> </tbody> </table> ・ 断面形状 〈厚さ12～14〉 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>厚さ</td><td>12～14</td></tr> <tr> <td>模様深さ</td><td>最小厚さ8以上を確保</td></tr> <tr> <td>容積欠損率 (%)</td><td>8以下 (但し、板厚12を超える場合は裏面から12以下の模様による欠損率とする)</td></tr> <tr> <td>※中空率 (%)</td><td>0 (中実)</td></tr> </tbody> </table> 〈厚さ15～25〉 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>厚さ</td><td>15～25</td></tr> <tr> <td>模様深さ</td><td>最小厚さ11以上を確保</td></tr> <tr> <td>容積欠損率 (%)</td><td>11以下 (但し、板厚15を超える場合は裏面から15以下の模様による欠損率とする)</td></tr> <tr> <td>※中空率 (%)</td><td>37以下 (但し、板厚15を超える場合は厚さを増した分だけ、dの長さを増し中空率を上げることができる)</td></tr> </tbody> </table> ・ 中空の形状  <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ t</th><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15以上</td><td>3以上</td><td>3以上</td><td>3以上</td><td>9以下</td></tr> </tbody> </table>	厚さ	幅		長さ		最小	最大	最小	最大	12～14	400※	1210	1820	3640	15～25	303	910	910	3640	厚さ	重なり	隙間	12～14	6以上	3以下	15～25	9以上	3以下	厚さ	12～14	模様深さ	最小厚さ8以上を確保	容積欠損率 (%)	8以下 (但し、板厚12を超える場合は裏面から12以下の模様による欠損率とする)	※中空率 (%)	0 (中実)	厚さ	15～25	模様深さ	最小厚さ11以上を確保	容積欠損率 (%)	11以下 (但し、板厚15を超える場合は裏面から15以下の模様による欠損率とする)	※中空率 (%)	37以下 (但し、板厚15を超える場合は厚さを増した分だけ、dの長さを増し中空率を上げることができる)	厚さ t	a	b	c	d	15以上	3以上	3以上	3以上	9以下
厚さ	幅		長さ																																																				
	最小	最大	最小	最大																																																			
12～14	400※	1210	1820	3640																																																			
15～25	303	910	910	3640																																																			
厚さ	重なり	隙間																																																					
12～14	6以上	3以下																																																					
15～25	9以上	3以下																																																					
厚さ	12～14																																																						
模様深さ	最小厚さ8以上を確保																																																						
容積欠損率 (%)	8以下 (但し、板厚12を超える場合は裏面から12以下の模様による欠損率とする)																																																						
※中空率 (%)	0 (中実)																																																						
厚さ	15～25																																																						
模様深さ	最小厚さ11以上を確保																																																						
容積欠損率 (%)	11以下 (但し、板厚15を超える場合は裏面から15以下の模様による欠損率とする)																																																						
※中空率 (%)	37以下 (但し、板厚15を超える場合は厚さを増した分だけ、dの長さを増し中空率を上げることができる)																																																						
厚さ t	a	b	c	d																																																			
15以上	3以上	3以上	3以上	9以下																																																			

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造									
②外装材	[2] 火山性ガラス質複層板 ・規格 JIS A 5440、QM-9142 ・厚さ 9.0 以上 ・寸法 最大：1220×3030 最小：455×910 ・実形状 - 長辺方向：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 切り放し (2) 本実 (3) 合じゃくり - 短辺方向：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 切り放し (2) 本実 (3) 合じゃくり									
③外装下地材	[1] 胴縁 ・断面形状 12×40の断面寸法以上 ・間隔 500以下 [2] 胴縁受材 (1)、(2)のうちいずれか一仕様とする (1) 有り (20×30の断面寸法以上) (2) 無し									
④補強材	間柱 ・寸法 45 以上×45 以上 ・間隔 500 以下									
⑤防水シート	次の組合せのうち、いずれか一仕様とする <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">仕 様</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">単 張</td><td>(1)</td></tr> <tr> <td>(2)</td></tr> <tr> <td>(3)</td></tr> <tr> <td rowspan="2">複 合 張</td><td>(1) と (3)</td></tr> <tr> <td>(2) と (3)</td></tr> </tbody> </table> * 表中の (1)、(2)、(3) は以下の仕様とする (1) 透湿防水シート ・規格 JIS A 6111 ・厚さ 0.16 以上 (2) アスファルトフェルト (430) ・規格 JIS A 6005 (3) 防水テープ (ブチルゴム系またはアスファルト系粘着テープ)	仕 様		単 張	(1)	(2)	(3)	複 合 張	(1) と (3)	(2) と (3)
仕 様										
単 張	(1)									
	(2)									
	(3)									
複 合 張	(1) と (3)									
	(2) と (3)									

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
⑥断熱材	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) フェノールフォーム保温板 ・規格 JIS A 9511 ・厚さ 20以上 (2) グラスウール ・規格 平成12年建設省告示第1400号 ・厚さ 20以上 (3) ロックウール ・規格 平成12年建設省告示第1400号 ・厚さ 20以上
⑦内装材	(1)～(6)のうち、いずれか一仕様とする (1) 強化せっこうボード ・規格 平成12年建設省告示第1400号 ・厚さ 12.5 以上 (2) せっこうボード ・規格 平成12年建設省告示第1400号 ・厚さ 15 以上 (3) 厚さが12以上のせっこうボードの上に厚さが9以上のせっこうボード又は難燃合板を張ったもの ・せっこうボード 規格 平成12年建設省告示第1401号 ・難燃合板 規格 平成12年建設省告示第1402号 (4) 厚さが9以上のせっこうボード又は難燃合板の上に厚さが12以上のせっこうボードを張ったもの ・せっこうボード規格 平成12年建設省告示第1401号 ・難燃合板規格 平成12年建設省告示第1402号 (5) 厚さが7以上のせっこうラスボードの上に厚さが8以上のせっこうプラスターを塗ったもの ・せっこうラスボード規格 JIS A 6901、NM-8617 (6) 火山性ガラス質複層板 ・規格 JIS A 5440、QM-9137 ・厚さ 12.5 以上

2) 副構成材料

(寸法単位: mm)

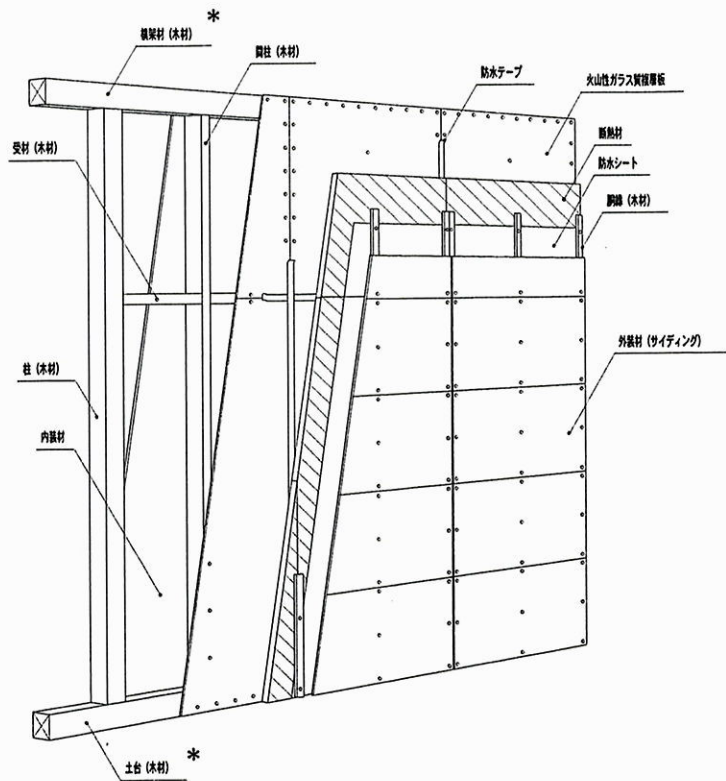
項 目	申 請 構 造
①釘 (ねじ)	[1] 火山性ガラス質複層板留め付け用 (1) ~ (4) のうち、いずれか一仕様とする (1) 釘 N50 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 100以下 (外側)、200以下 (中央) (2) 釘 SFN50 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 100以下 (外側)、200以下 (中央) (3) 釘 CN50 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 100以下 (外側)、200以下 (中央) (4) 木ねじ $\phi 3.5$以上$\times$$\ell 32$以上 ・規格 JIS B 1112 ・間隔 100以下 (外側)、200以下 (中央) [2] サイディング留め付け用 ・寸法 $\phi 2.0$以上$\times$$\ell 38$以上 ・間隔 303 以下 [3] 胴縁留め付け用 胴縁受材 [4] が有る場合 (1) ~ (4) のうち、いずれか一仕様とし、胴縁受材が無い場合 (4) とする (1) 釘 N50 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 500以下 (2) 釘 SFN50 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 500以下 (3) 釘 CN50 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 500以下 (4) 木ねじ ・寸法 $\phi 3.0$以上$\times$$\ell 75$以上 ・間隔 300以下 [4] 胴縁受材留め付け用 (胴縁受材を使用する場合に限る) (1) ~ (3) のうち、いずれか一仕様とする (1) 釘 N50 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 500以下 (2) 釘 SFN50 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 500以下 (3) 釘 CN50 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 500以下

(寸法単位：mm)

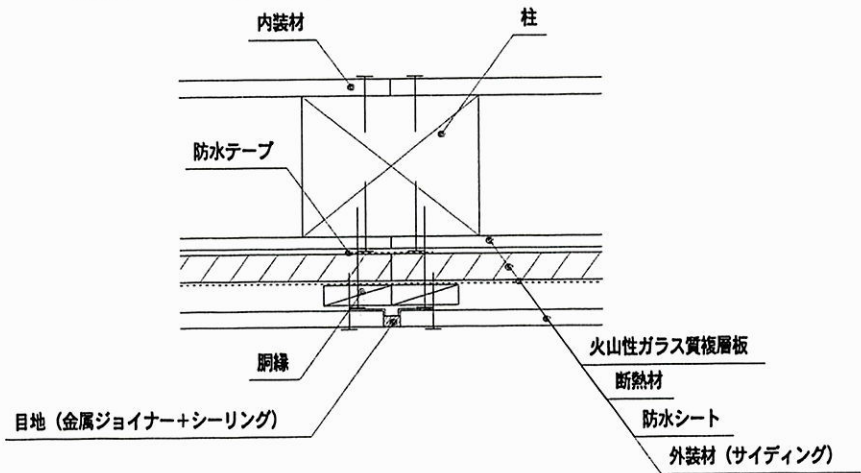
項 目	申 請 構 造
②金属ジョイナー	・ 材料 鋼板製 ・ 厚さ 0.27 以上
③シーリング材	(1) ～ (5) のうち、いずれか一仕様とする (1) ウレタン系シーリング材 (2) アクリル系シーリング材 (3) ポリサルファイド系シーリング材 (4) 変成シリコン系シーリング材 (5) シリコン系シーリング材 ・ 使用量 56～126 g/m

4. 構造説明図
＜構成の種類＞

		サイディングの張方	
		横張	縦張
胴縁受材の有無	無し	図４－１、図４－２	図４－５、図４－６
	有り	図４－３、図４－４	図４－７、図４－８

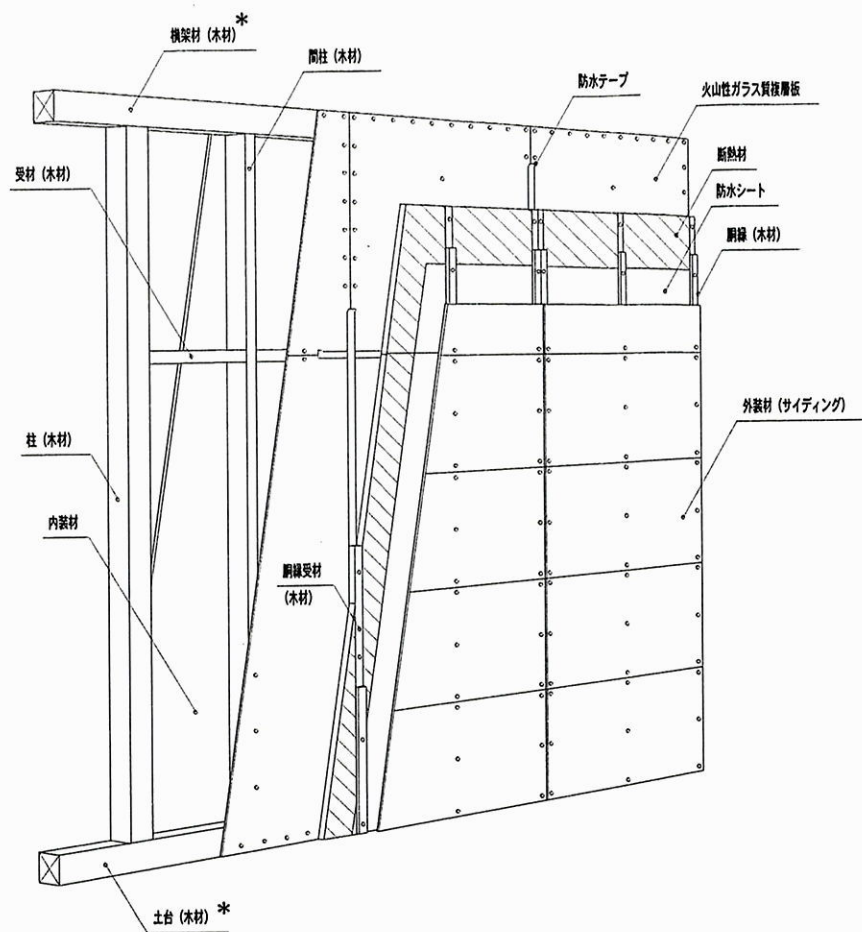


【図４－１：サイディング横張、胴縁受材無しの構造（透視図）】

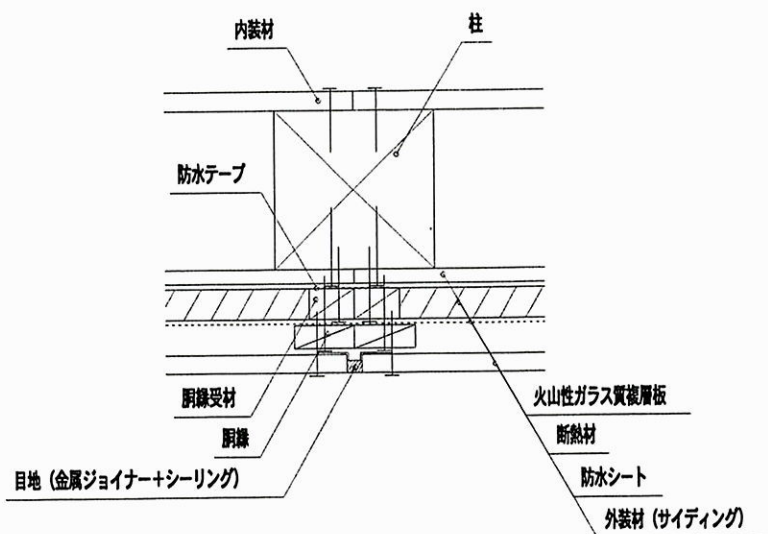


【図４－２：サイディング横張、胴縁受材無しの構造（目地仕様図）】

注）寸法は３のとおり
＊：本評価内容には含まない



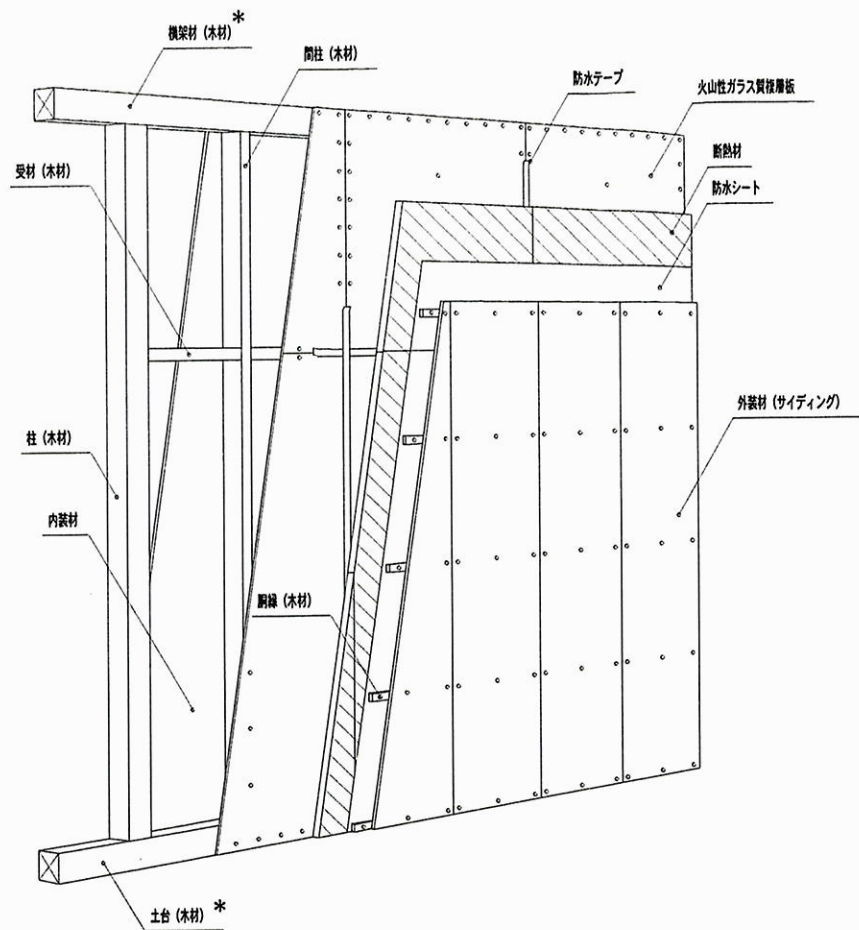
【図４－３：サイディング横張、胴縁受材有りの構造（透視図）】



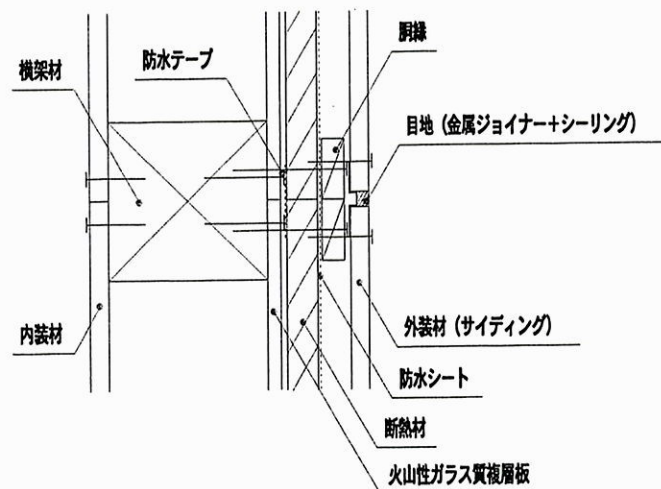
【図４－４：サイディング横張、胴縁受材有りの構造（目地仕様図）】

注) 寸法は 3 のとおり

* : 本評価内容には含まない



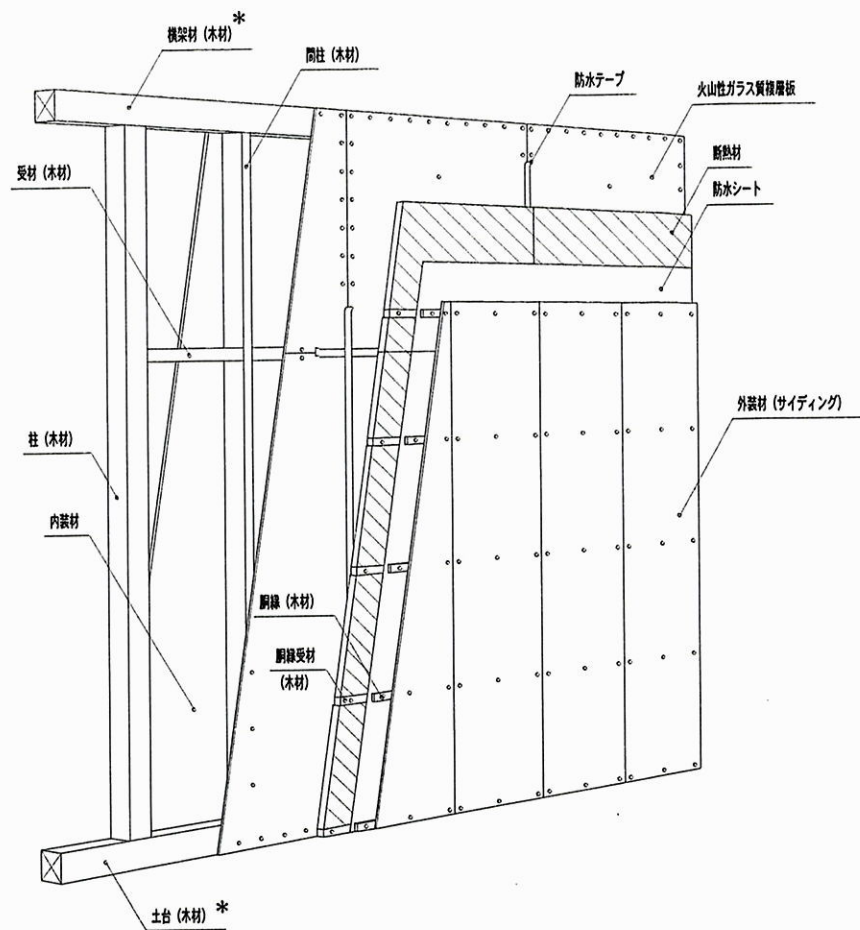
【図４－５：サイディング縦張、胴縁受材無しの構造（透視図）】



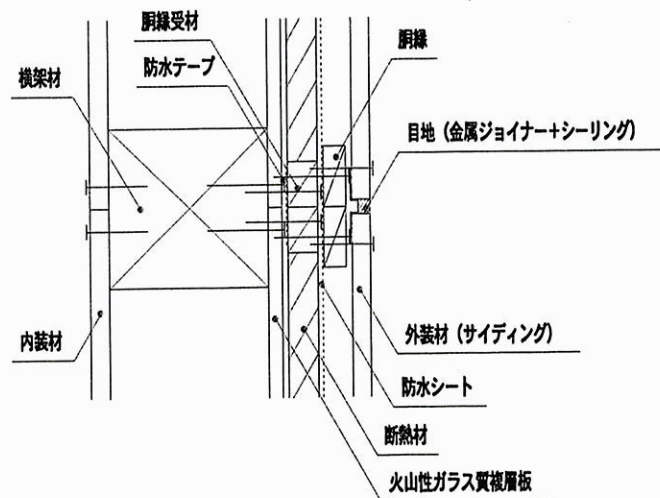
【図４－６：サイディング縦張、胴縁受材無しの構造（目地仕様図）】

注）寸法は３のとおり

*：本評価内容には含まない



【図４－７：サイディング縦張、胴縁受材有りの構造（透視図）】



【図４－８：サイディング縦張、胴縁受材有りの構造（目地仕様図）】

注）寸法は３のとおり

*：本評価内容には含まない

5. 施工方法等

施工図は4と同じ

<施工手順>

- 1) 下地
 - ・ 柱、間柱等は反り・曲り等のないものを使用する。
 - ・ 柱と横架材とは上下長ほぞ差しまたは突き付けとし、接合金物を用いてN50以上の釘等で固定する。
 - ・ 間柱と横架材との仕口は、上部はほぞ差し、下部は突き付けとし、N50以上の釘で斜め打ちする。
- 2) 外装下地材
 - ・ 火山性ガラス質複層板を釘 (N50) 等で縦張固定する。
釘ピッチは周辺部100mm以下、中央部200mm以下とする。
- 3) 断熱材
 - ・ 火山性ガラス質複層板の上に断熱材を留め付ける。必要に応じ、断熱材間に胴縁受材を施工する。
- 4) 防水処理
 - ・ 外装下地材の上または断熱材の上にアスファルトフェルト、防水テープ又は透湿防水シートを施工する。
- 5) 胴縁
 - ・ 断熱材、胴縁受材または防水処理の上に胴縁を500mmピッチ以下で固定する。
- 6) 外装材
 - ・ サイディングを釘 (φ2.0以上×ℓ38mm以上) で303mmピッチ以下で固定する。
 - ・ サイディングの目地部は継ぎ手ジョイナーで繋ぎ、シーリング材で埋める。
- 7) 仕上げ
 - ・ 必要に応じ、防火上支障の無いように仕上げる。
- 8) 内装材
 - ・ 所定の内装材を施工する。